

令和4年 網走市議会  
文教民生委員会 会議録  
令和4年8月29日（月曜日）

○日時 令和4年8月29日 午後1時27分開会

○場所 議場

○議件

1. 新型コロナウイルスワクチンの間違い接種（同日2回接種）について
2. 委員会としての一般廃棄物処理の反省と検証について
3. 行政視察について

○出席委員（6名）

委員長	松浦敏司
副委員長	近藤憲治
委員	石垣直樹
	金兵智則
	工藤英治
	澤谷淳子

○欠席委員（0名）

○議長 井戸達也

○委員外議員（0名）

○傍聴議員（3名）

小田部 照
永本浩子
村椿敏章

○説明者

副市長	後藤利博
新型コロナウイルス ワクチン接種推進室長	桶屋盛樹
新型コロナウイルス ワクチン接種推進室次長	永森浩子
新型コロナウイルス ワクチン接種推進室参事	本橋洋樹

○事務局職員

事務局長	林 幸一
次長	石井公晶
総務議事係	早渕由樹

午後1時27分開会

○松浦敏司委員 ただいまから、文教民生委員会を開会いたします。

本日の委員会ですが、当初議件は2件でしたが、急遽1件、追加となりましたので、御了承願います。

それでは初めに、新型コロナウイルスワクチンの間違い接種（同日2回接種）について、説明を求めます。

○後藤利博副市長 本日、委員会について説明をさせていただきます案件は、新型コロナウイルスワクチンの接種について、市内在住の男性の方に、同日に2回続けて接種をしてしまった、間違い接種の件についてでございます。

詳細は担当より説明をいたしますが、この間違い接種により、御本人、御家族、多くの皆様に大変な御心配と御不安をおかけしましたことを、心よりおわび申し上げます。

誠に申し訳ありませんでした。

○本橋洋樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事 資料1号を御覧願います。

令和4年7月20日に判明した、新型コロナウイルスワクチンの間違い接種（同日2回接種）の経過と、対応につきまして御報告いたします。

市内在住の高齢男性に対しまして、新型コロナウイルスワクチン4回目接種の際に、同日に2回接種したことが判明しております。

経過であります。当該男性は、7月20日水曜日、午前9時から9時30分の接種枠で、集団接種会場でありますエコーセンターに会場し、受付後、予診票確認及び医師による予診を済ませ、4か所ある接種室のうち、1番接種室で9時20分に接種を終えた後、誤って3番接種室に入り、9時23分に2回目の接種をしたものであります。

原因であります。集団接種につきましては、受付、予診票確認、医師による予診、看護師による接種、接種済証発行、看護師、救急隊員による状態観察、最終確認の流れとなっており、受付の際に、被接種者にお渡しする新型コロナウイルスワクチン接種チェック表で、会場スタッフ及び医療従事者が各

項目の確認チェックを行っておりますが、今回、当該チェック表の接種項目に記載があったにもかかわらず、確認ミスにより、間違い接種に至ったものがあります。

3回目接種まで同様の手法で集団接種を進める中、トラブルなく進んでおりましたが、会場内での被接触者の支援につきましては、外見的な身体状況だけではなく、年齢を含めた配慮も必要であったと実感しているところであります。

接種後の対応であります。会場内の救護室におきまして、医師及び救急隊員による健康観察を行うとともに、来場いただいた親族に、間違い接種に至った経緯を説明し、その後、体調に変化が見られなかったため、午前11時に帰宅をしております。

また、高齢で健康観察の継続が必要と判断されたため、親族に体調不良時の連絡を依頼するとともに、接種日の午後から27日までの8日間、午前9時と午後4時の1日2回を基本といたしまして、市保健師の訪問によるバイタルチェック及び電話による体調確認を継続してまいりましたが、この間、体調不良もなく、日々、安定していたため、接種当日に問診した医師に経過報告をし、健康観察を終了しております。

再発防止であります。間違い接種判明後、会場スタッフ及び医療従事者に対する確認チェックの徹底を促すとともに、当日の午後には、新型コロナウイルスワクチン接種チェック表の様式変更に加え、予診から接種までの動線に誘導スタッフを増員して対応してきたところでございます。

報告は以上でございます。

**○松浦敏司委員長** ただいまの説明で質疑等ございますか。

**○澤谷淳子委員** 今回の御説明を聞きまして、やはりこの方の年齢が93歳ということで、ひょっとして認知症の方だったとかということはありませんか。

**○本橋洋樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事** 年齢的、93歳ということもあり、若干の認知はあったのかなとは思いますが……すみません、93歳という高齢もあったと思うのですが、受け答えははっきりしていましたので、認知という感じは余りなかったかと思えます。

**○澤谷淳子委員** それではちょっと、今の説明で、すぐ御家族に何かそこにいらっしゃったような感じを受けたのですが、御家族に報告したのは、この方のお帰りになってからということだったのですか。

その場に御家族もいらっしゃったのでしょうか。

**○本橋洋樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事** 間違い接種の後、連絡先として御家族の方に会場にお越しいただいて、御説明をしたという形になっております。

**○澤谷淳子委員** それでは、今後の再発防止ということで、今後は、私は問診を受けた後に注射して、もう1回違うところに入るというのは誰も想定しなかったと思うのですが、そのことがないように、次からは待合待機所というのですか、次の休む、15分間みるところまできちんと誘導するというのを、今はやっているということですね。

**○本橋洋樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事** 接種室に間違えて入らないように、動線のところに人員を配置して、人の見る目を増やして、間違い接種が起きないような体制で、今進めております。

**○澤谷淳子委員** 了解しました。

**○松浦敏司委員長** ほかにありませんか。

ありませんか。

**○金兵智則委員** とにかくにも、体調の悪化が見られなかったのが不幸中の幸いなのかなというふうに思います。

予想ができないような行動の中で、それを止められなかった、今までがなかったからということなのか、最初の頃に比べれば慣れなのか、多分、ずっとそこに付きっきりになるわけにもいかないと思いますので、人も少しずつ多分、ボランティアというか、運営スタッフも減らしていった中で起きてしまったということなのかなと。

最初にも言いましたけれども、体調の悪化が見られなかったのがよかったことだし、ただ、やっぱりね、御家族を含め、御本人に多大なる迷惑をかけたしまったというのは事実ですので、十分に今後も気をつけていただきたいというのと、このチェック表の様式を変更すると、大分、今後のミスは減ると期待は持って大丈夫なものなのですか、これだけで。

**○本橋洋樹新型コロナウイルスワクチン接種推進室参事** チェック表なのでございますけれども、従来のチェック表自体が、ちょっと見づらかった部分もあったのかなと思う点があったものでして、接種のところの欄の部分の太枠で囲って、要は、接種のところ一度入ったかどうかを確認できるように、目立つようにしたというふうにチェック表を直しております。

これだけで、完全に防げるかということは一概には言えないのですけれども、やはり動線、やっぱり混んでいるときになるとちょっと見逃す可能性もあるので、できれば動線の部分には多くの人の目で、間違いなく接種室に2回入らないようにチェックするのが最善なのかなというふうに私は思っております。

**○金兵智則委員** 多分、そうなのだと思います。

出てまた入ってしまったというのが多分原因だったということなので、そこをきちんと誘導できていれば、起こらなかったということなのだと思います。

今後ちょっと考えられないようなことがね、また起こるのかもしれないです。

都度対応するのは大変なのかもしれないですけども、何かあったときには大きな問題になりますので、そこは細心の注意を払って、今後もやっていただきたいなというふうに思います。

以上です。

**○松浦敏司委員長** ほかにありませんか。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

それでは、この件につきましては、そのようにいたします。

それでは、理事者退席のため暫時休憩いたします。

午後1時37分休憩

午後1時38分再開

**○松浦敏司委員長** それでは再開します。

次に、委員会としての一般廃棄物処理の反省と検証について、近藤副委員長より説明をしていただきたいと思います。

**○近藤憲治委員** 当委員会として、この網走市の現行のごみ処理方式が破綻に至った検証と反省をということで、6月20日に初稿を配付させていただいて、7月20日に御意見を頂戴したところでございます。

本日は頂いた御意見を反映したものとなっておりますので、確認を頂きたいと考えております。

以上でございます。

**○松浦敏司委員長** 今、副委員長のほうからお話がありましたように、7月20日の当委員会において、皆さんに御意見をということで、文言の中でどうするかということで、御意見なども伺って、そしてこういうふうに一応まとめたところであります。

これについて何か皆さんからの、改めてここはこうすべきだというような具体的なところがあれば、お示しいただきたいと思います。

よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、一応こういった形でまとめさせていただいて、今後も当然これで100%終わりではありませんから、今後、新たなことが起きればまた加えていくようなこともあるかというふうに思いますが、この文言で市のホームページ及び報道機関へ周知することが7月20日の委員会の中で決定しております。

報道機関へ周知する際、資料3号にあると思いますが、市議会からのお知らせの後ろに反省と検証の文案をつける形となります。

市議会からのお知らせを確認していただき、もし、こういった形でというようなことがあれば、お示しいただきたいと思いますが、先ほどの中では、一応の皆さんからの意見は特別ななかったということで、こういうことでホームページに公表するというところでよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

では、そのようにいたします。

それでは次に……近藤委員。

**○近藤憲治委員** すみません、検証と反省、第一次取りまとめということで、この中身については、この委員会の総意ということで確認をしていただいたというふうに思っております。

今、網走市のほうでも、検証と反省は終わっていないという答弁が当委員会の中でもあって、まちづくり懇談会、この8月の間、市内各所で行っていますけれども、その場でも相当、様々な意見を頂いていると。

出た意見に関しては全てではないけれども、盛り込むべきものは、市側のですよ、市側の反省と検証に盛り込んでいくという答弁もありましたので、いずれにしても、また網走市側の検証と反省の文書が出てくるものと考えております。

実は、このチラシがですね、網走ごみ通信が市内全戸配布をされたのですが、大変厳しい、お怒りも含めた御指摘を頂戴しています。

ごみの排出量が減らないという現象だけを取り上げて、なおかつそれは市民の皆さんの分別がきちんとできていないからだということを言っている。

このごみ通信の中身だけ見ると、市民の皆さんが

素朴に感じるのは、私たちは分別に協力していますよと。

何でこうなっちゃっているのですかという疑問を持つわけですよ。

ですので、これまで議会の中で、またこの委員会の中でも相当議論が重ねられていますけれども、なぜこういう事態になったのかということ、市民の皆さんに伝えることがやっぱり全ての入り口になるのですが、できていない。

大変残念といいますか、情けない気持ちになったところがあります。

そういう点でも、やはり、今のごみ政策が破綻に至った原因というものを、きっちりと検証と反省をし、それを市民の皆さんにつまびらかに明らかにするという作業は不可欠でありますので、そういったところに留意をした所管事務調査を今後も進めたいというふうに考えております。

○松浦敏司委員長 御意見を承りました。

私のところにも、そのチラシに対する意見は来ておりますので、今後、正副で協議しながら必要に応じて調査をしていくというふうにしていきたいというふうに思います。

この件についてはよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

ことで、かなり具体的に書いているかと思えます。

このような内容でよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

では、こういう形で進めたいというふうに思いますが、それでよろしいですね。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

わかりました。

それでは、これをもちまして、文教民生委員会を終了いたします。

御苦労さまでした。

午後1時46分開会

---

○松浦敏司委員長 では次に、行政視察についてあります。

まず、資料4号でありますけれども、全行程表がありますが、皆さんのところに、お手元にあると思います。

こういった形でやっていきたいというふうに思います。

もう一つ、資料5、これは三つの市のほうから、あらかじめ質問事項について出してほしいというような要望も来ておりますので、あらあら正副のほうで、このような形でということ聞いてはどうかというふうにしております。

このことについて皆さんからの、具体的にこういうことも聞く必要があるのではないかということがあれば、出していただきたいと思います。

日程表については、こういう形でやるということで、変更はなかなかできないかと思いますが。

視察に当たっての質問項目ということで、それぞれ、三豊市についてはこれ、観音寺市についてはこういう形と、松山市についてはこういうことという